

報道関係者 各位

2019年2月26日
国立大学法人 東京農工大学
東京都教育庁

東京農工大学と東京都教育委員会との連携 に関する協定の締結について

-世界の第一線で活躍する高度イノベーション人材の養成-

国立大学法人東京農工大学と東京都教育委員会との間において、「東京都教育委員会と東京農工大学との連携に関する協定」を締結することとなりましたので、お知らせします。本学の教育・研究力を活用した教育活動を高校に導入することで、将来の研究者としての素養をより高めることを目的とし、高校と大学を一貫した教育カリキュラムの実現を目指します。東京都教育委員会と連携し、世界の第一線で活躍する高度イノベーション人材の養成に取り組みます。

1. 連携の目的

東京農工大学が有する高度な教育・研究力を生かして、都立高校の生徒を対象に、将来の大学進学を見据えた専門的な教育機会を提供する。高校における学習成果の総合的な評価を踏まえ、大学との円滑な接続を図ること等を通じて、高校教育と大学教育を一貫した人材育成のための研究開発を実施することを目的とする。

2. 連携の内容

- (1) 大学の教育・研究力を生かした高校生への専門的な教育機会の提供
- (2) 高校における教育活動の成果に係る多面的・総合的な評価方法の開発、実践
- (3) 大学入学者選抜において高校における教育活動の成果を活用するための方策の検討
- (4) 円滑な高大接続を実現するための大学における教育活動の改善、充実
- (5) 大学入学後の学生の状況の把握等による高校教育及び大学教育の更なる充実
- (6) その他

3. 協定締結式

日 時：平成31年3月5日（火）午前10時30分から午前11時まで

会 場：東京都庁第一本庁舎37階 教育委員会室

- 議事次第： (1) 開式
(2) 出席者紹介
(3) 挨拶
(4) 協定書署名
(5) 写真撮影
(6) 閉式

出席予定：

- | | | | |
|-----------------|-------|-----|---|
| ・国立大学法人東京農工大学 | 大野 弘幸 | 学長 | 他 |
| ・東京都教育委員会 | 中井 敬三 | 教育長 | 他 |
| ・東京都立多摩科学技術高等学校 | 白鳥 靖 | 校長 | |

4. 取材について

- (1) 取材を希望される場合には、平成31年3月4日（月）午後5時までに、下記の問い合わせ先（東京都教育庁都立学校教育部都立高校改革担当）に御連絡ください。

- (2) 取材受付は、10時00分から10時20分まで会場前にて行います。
エレベーターは、北側（Aバンク・橙色）を御利用ください。
- (3) 協定締結式後、教育長及び学長等の囲み取材は行いませんので、御了承ください。
- (4) 取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。
- (5) 取材の位置等については、係員の指示に従ってください。

4. 問い合わせ先

<東京農工大学に関する事>

東京農工大学学務部学生総合支援課 松本

TEL:042-367-5537

FAX:042-367-5557

<東京都教育委員会に関する事>

東京都教育庁都立学校教育部都立高校改革担当
宇高

TEL:03-5320-6842

東京都教育委員会(多摩科学技術高校)と東京農工大学の連携による 「高大連携教育プログラム」について

- ◇ 東京都が設置する科学技術科の高校2校については、大学等との連携により、高校段階から先端的な科学技術に触れつつ、研究活動にも携わることで、科学技術分野の素養を習得し、理系学科への進学を目指す専門高校としての地位を確立。
- ◇ 一方で、これらの高校においても、本来であれば、高校3年間の学びの集大成として、より高度な研究活動に挑戦できる高校3年生の段階には、大学入試等への対応に迫られ、必ずしも十分な時間を研究活動等に割く余裕がないのが現状。
- ◇ また、大学進学後、学部1, 2年生の段階では、教養教育に重点を置く大学が多く、その結果、高校3年間で培った将来の研究者としての素養や研究への意欲・態度等を、大学での専門的な学びにつなげることが難しいといった意見もある。

高大連携

大学の教育・研究力を活用した教育活動を高校に導入することで、将来の研究者としての素養をより高めるとともに、学びの成果を適切に評価し、大学での学びに円滑に接続させることで、高校と大学を一貫した教育カリキュラムの実現

世界の第一線で活躍する高度イノベーション人材の養成

「高大連携教育プログラム」のイメージ

※下記はイメージであり、プログラムの実施規模や内容や導入年度等の詳細については、平成31年度に検討を行う予定。

- ① 高校・大学（学部、大学院）において、将来の研究者としての素養を一貫して育成
- ② 大学教員が高校教員とともに、高校における学びの成果を総合的に評価し、その結果を大学入試に反映
- ③ 大学入学後の状況を高校に定期的にフィードバックし、①を改善・充実

- ⇒ **高大一貫カリキュラム**
- ⇒ **多面的・総合的評価**
- ⇒ **PDCAサイクル**

以上について、多摩科学技術高校を拠点とした研究開発を実施。その後、その検証を行い、他の高校への拡大を含めた見直しを検討。

